

平成 28 年 5 月 20 日

(件名)

湖西市地域公共交通網形成計画の策定に向けて

(企画部市民協働課)

1 概要

本市では、平成 23 年度に新たな公共交通の在り方を具体化するため、公共交通基本計画を策定し、「誰もが移動しやすい湖西市」を目指すこととなりました。その後、地域の関係者が協働・連携しながら各種の取組みを推進する必要があることから地域協働推進事業を実施することとなり、そこで、協働推進事業の前提となる地域公共交通活性化・再生法に基づく地域公共交通総合連携計画を平成 26 年 3 月に策定しました。

計画期間である平成 26 年度から平成 28 年度の間、湖西市地域公共交通会議や湖西市バス運行評価改善委員会が中心となり、協議を重ね、計画に掲げた施策を実施してきました。

計画期間が今年度で終了する連携計画に掲げた各種施策について、これまでの取組内容の成果、目標の達成状況等をまとめ、社会情勢の変化等を踏まえて、今後の改善点や課題等を整理し、次期公共交通計画となる地域公共交通網形成計画に反映していきます。

2 課題と改善点

本計画で構築した地域公共交通ネットワーク体系を、持続可能な公共交通体系として維持・確保していくためには、市民の移動需要に合わせた路線再編や地域公共交通の周知・PR など、利用促進に向けた取組みを積極的に進める必要があります。

コーちゃんバスの維持経費は、その大半が市の財源で賄われています。市の厳しい財政状況の中、公共交通サービス水準を維持向上するためには、効率化を進めるとともに、利用者収入を増やす必要があります、そのための利用促進が重要になってきます。

平成 27 年度におけるコーちゃんバス利用者数は、約 8 万人であり平成 25 年度に比較して少しずつ増えています。まだまだコーちゃんバスの認知度が低いこともあり、利用者が伸び悩んでいる状況にあります。

今後は、市民のコーちゃんバスに対する認知度の向上を図ると共に、利用者アンケートや市民ニーズに基づく利便性の改善に努め、さらなる利用促進を図っていくことが重要です。

① 利用者のニーズに対応したバス路線の改善

コーちゃんバスは平成 25 年 4 月から運行を開始しており、現在、7 路線を運行しています。毎年、湖西市地域公共交通会議や湖西市バス運行評価改善委員会などで協議を行い、継続的にルート変更やダイヤ改正を行っています。また、民間バス事業者の路線廃止に伴い自主運行バス浜名線の運行も行っています。

継続的な改善を行ってきましたが、各路線において利用が減少しているバス停、利用が少ない時間帯・区間、土日祝日運行の検討などの問題点が残っており、利用者のニーズを定期的に把握しながら、運行内容の改善に引き続き、取り組んでいきます。

② 運賃体系の見直し

コーちゃんバスの運賃は、路線バスの運賃体系に配慮しながらも、地区を 5 つのゾーンに分けた料金体系を設定しました。

しかし、一部地域で不公平感が発生するなどの問題点があり、今後の社会情勢を踏まえて、路線バス利用者の実態把握に努めると共に、誰もがわかりやすい料金体系にすることを目指します。

③ コーちゃんバスの認知度向上及び利便性向上

コーちゃんバスの運行内容を市民の皆さまに知ってもらうために、持ち運びができるポケット時刻表、買い物や通院目的での利用方法を示したガイドブック、バスの乗り方教室や買い物バスツアー等の企画、夏休みの小学生割引等、コーちゃんバスを知ってもらい、利用してもらうための取り組みを行っています。

しかし、コーちゃんバスは高齢者しか利用できないなどの認識を持っている市民の方が依然として残っていることから、コーちゃんバスの PR による認知度の向上及び利便性向上による利用促進に引き続き、取り組んでいきます。

④ 利用者増につながる効果的な利用促進策の展開

今まで継続的に実施してきた施策が、市民から見て、必ずしも全てが意に沿っていなかったことから利用者増につながっていません。また、新たな利用者の発掘のために、効率的に聞き取りをするなど潜在的なニーズ把握に引き続き、取り組んでいきます。

3 今後の展望

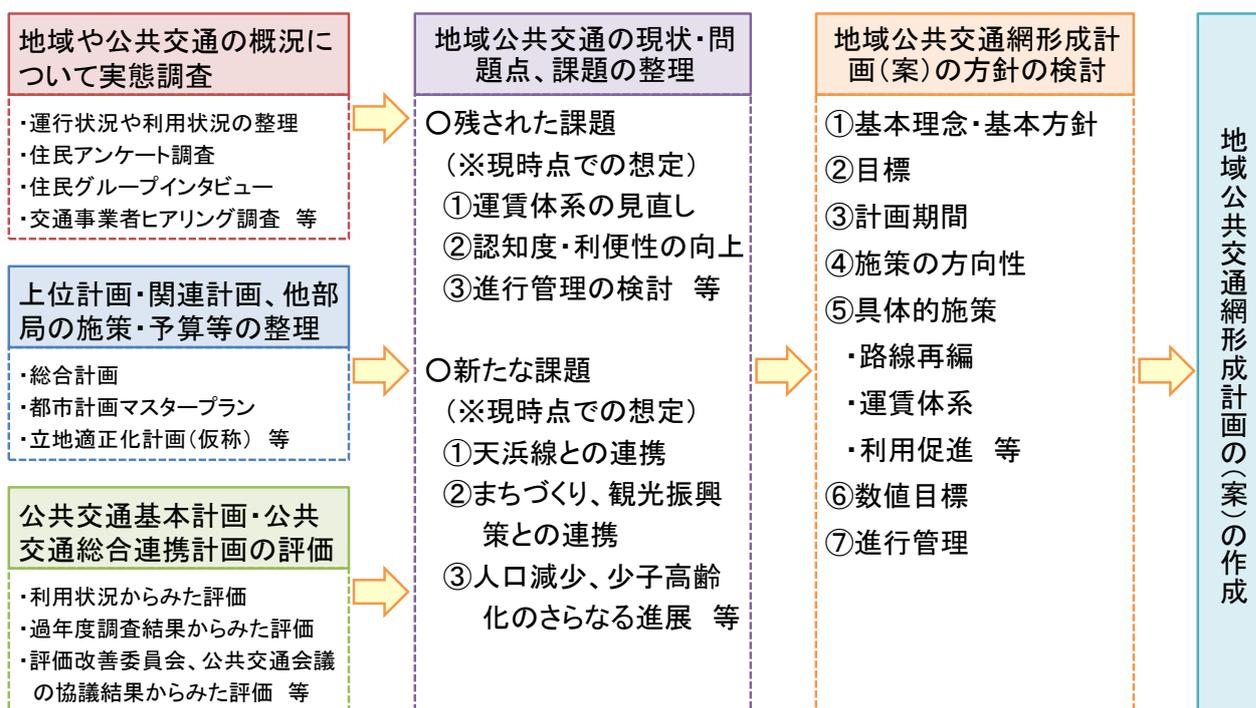
本市の地域公共交通政策については、連携計画に基づき概ね計画通りに構築されましたが、コーちゃんバスは運行3年が経過したところであり、前項で示したような課題が残っています。

コーちゃんバスを地域に定着させ、認知度を上げるための取り組みを推進し、市民生活に浸透する移動手段に育てていくことが急務となっています。

また、高齢化社会が進展する中、高齢者の移動ニーズを把握するとともに、市民の移動手段としての利便性向上を図っていくことや都市計画や観光振興など、まちづくりと公共交通が一体となった地域公共交通ネットワーク体系の構築が求められています。

今後は、各路線の評価や課題を踏まえた改善策を実施し、市民、事業者等と協働・連携しながら持続可能な地域公共交通の維持・確保に向けた取り組みを推進していくことが重要となっています。

4 網形成計画策定の作業手順



▲ 計画策定のプロセス